

令和6年5月28日
第八管区海上保安本部
海上保安学校

第八管区海上保安本部・海上保安学校

定例記者懇談会

1 日時

令和6年5月28日（火）午後1時30分から

2 場所

舞鶴港湾合同庁舎2階 第1会議室

3 発表事項

<第八管区海上保安本部>

- ・捜査技能審査会の開催について【刑事課】

令和6年6月19日に、若手海上保安官の捜査能力の向上及び意識の高揚を目的として、捜査にかかる基礎知識、想定事例に対応した捜査技術等を審査する捜査技能審査会を実施予定。

- ・海洋環境保全推進月間について【環境防災課】

令和6年5月30日から令和6年6月30日を海洋環境保全推進月間とし、海洋環境保全指導や啓発活動を実施予定。併せて「第25回未来に残そう青い海、海上保安庁図画コンクール」を募集予定。

- ・日米韓SAR訓練等について【総務課、救難課】

日米韓SAR訓練を令和6年6月6日に実施予定。それに伴い、令和6年6月4日から令和6年6月6日にかけて、第八管区海上保安本部長表敬訪問、海上保安学校等施設見学、相互巡視船見学等を実施予定。

<海上保安学校>

- ・行軍訓練の実施について

令和6年6月11日に、団体行動の基本及び不撓不屈の精神の体得を目的とした総行程35kmの行軍訓練を実施予定。

4 業務説明

<第八管区海上保安本部>

- ・海上交通の安全を守る！～AISを活用した船舶交通の安全確保～【航行安全課】

国際的なAIS（船舶自動識別装置）の普及により海上保安庁の仕事が大きく変わりました。AISとは何か、そして船舶交通の安全を守るために、どのように使っているのか、その概要をご紹介します。

令和6年6月業務予定

日	曜	業務内容	備考
	継続		
1	土		上旬
2	日		
3	月		
4	火	日本・米国・韓国による合同捜索救助訓練等	
5	水	日本・米国・韓国による合同捜索救助訓練等	
6	木	日本・米国・韓国による合同捜索救助訓練等	
7	金	日本・米国・韓国による合同捜索救助訓練等	
8	土		
9	日		
10	月		
11	火	行軍訓練(海上保安学校)	中旬
12	水		
13	木		
14	金		
15	土		
16	日		
17	月		
18	火		
19	水	捜査技能審査会	
20	木		
21	金		下旬
22	土		
23	日		
24	月		
25	火		
26	水		
27	木	定例記者懇談会(AM)	
28	金		
29	土		
30	日		

【問い合わせ】

第八管区海上保安本部

警備救難部刑事課

山崎 隆志

TEL0773 - 76 - 4100 (内線 3172)



令和6年5月28日

第八管区海上保安本部

捜査技能審査会の開催について

第八管区海上保安本部において、若手海上保安官の捜査能力の向上及び意識の高揚を目的として、捜査にかかる基礎知識や想定事例に対応した捜査技術等を審査する「捜査技能審査会」を開催します。

【開催日】

令和6年6月19日（水）

（当日、事案対応により、中止する場合があります。）

【開催場所】

京都府舞鶴市字下福井901 舞鶴港湾合同庁舎6階 共用会議室

【審査会参加者】

敦賀、舞鶴、境、浜田の各保安部（所属保安署含む）職員3名でチームを編成（計12名）

【審査会概要】

想定事案について各チームに初動捜査を行わせ、関係者に対する職務質問や証拠収集等の技術を審査します。

チーム毎に審査を行い、優秀チームを表彰します。

【取材対応】

（1）取材概要

次の公開スケジュール中、任意の時間に会場へ出入りいただけます。

- ① 午後1時40分～午後2時30分（上記開催場所）
- ② 午後2時30分：参加チームへのインタビュー（同上）

（2）取材申し込み

取材を希望される社は、6月17日（月）午後4時までに別紙取材申込書の提出をお願いいたします。



第八管区海上保安本部
捜査技能審査会【実技審査】（6月19日）

別紙

取材申込書

御社名

氏名	連絡先(携帯電話等)

質問事項等あればご記入下さい

【送信先】

第八管区海上保安本部 警備救難部 刑事課
(FAX 0773-76-4103)

6月17日(月)午後4時までにご連絡下さい



問合せ先

第八管区海上保安本部

環境防災課課長 小山 弦太

TEL 0773-76-4100 (内線 3310)

令和6年5月28日

第八管区海上保安本部

海にごみを捨てない・船から油を流さない!

～海洋環境保全推進月間～

八管区では、5月30日(木)から6月30日(日)までを「海洋環境保全推進月間」※として、漁業・海事関係者に対する廃油類・廃棄物の適正な処理及び船舶からの漏油防止に係る海洋環境保全指導並びに子供達や一般市民に対する海洋環境保全啓発活動を重点的に実施します。

また、6月1日から第25回「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」の作品募集を開始します。

※海洋環境保全推進月間は、「未来に残そう青い海」をスローガンに、国民一人一人の海洋環境保全のための遵法精神の涵養及び海洋環境保全思想の普及を図り、もって海洋環境の保全に資することを目的に平成19年に定められました。

1 海洋環境保全指導・海洋環境保全啓発活動

昨年、八管区内(福井県～島根県)で確認された海洋汚染発生件数は18件で、そのうち油類による汚染が8件、廃棄物による汚染が10件でした。

(資料1参照)

このことを受け、海洋環境保全指導・海洋環境保全啓発活動として以下の活動を行います。

- 漁業・海事関係者に対する廃油類・廃棄物の適正な処理及び船舶からの漏油防止、台風や大雪等の自然災害による船舶の転覆、沈没の防止指導の実施
- マリーナ・釣具店等に対する利用客へのマリンレジャー活動に伴って発生するごみ等の適正な処理についての呼び掛けの依頼
- 子供達に対する海洋環境保全教室の開催
- 一般市民に対する各種イベント、地元清掃活動における環境保全啓発活動

(資料2参照)

2 第25回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール

海上保安庁では、将来を担う子供たちに海洋環境について考える機会を設け、海洋環境保全思想の普及を目的として、今年も「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」の募集を開始します。

(資料3、4参照)

令和 5 年管内海洋汚染件数状況

○ 海洋汚染確認件数は 18 件（前年比 4 件減）

令和 5 年における当管区の海洋汚染確認件数については 18 件（油類による汚染 8 件、廃棄物による汚染 10 件）で、前年から 4 件減となりました。

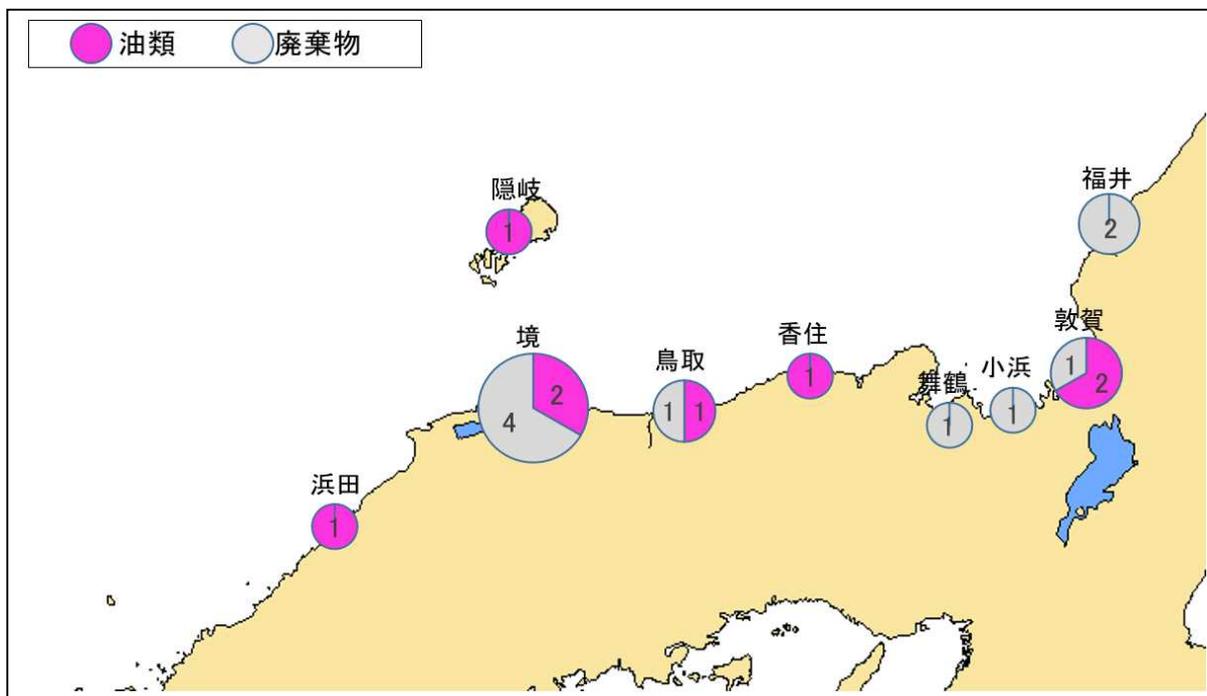
油類による汚染 8 件は前年に比べ 5 件減、廃棄物による汚染 10 件は前年に比べ 1 件増となっております。

油類による汚染 8 件の内訳は、船舶による排出が 4 件（うちバルブ等の取扱不注意 1 件、故意 2 件、海難（浸水） 1 件）、陸上からの排出が 4 件（作業中の不注意が 2 件、排出源不特定が 2 件）です。

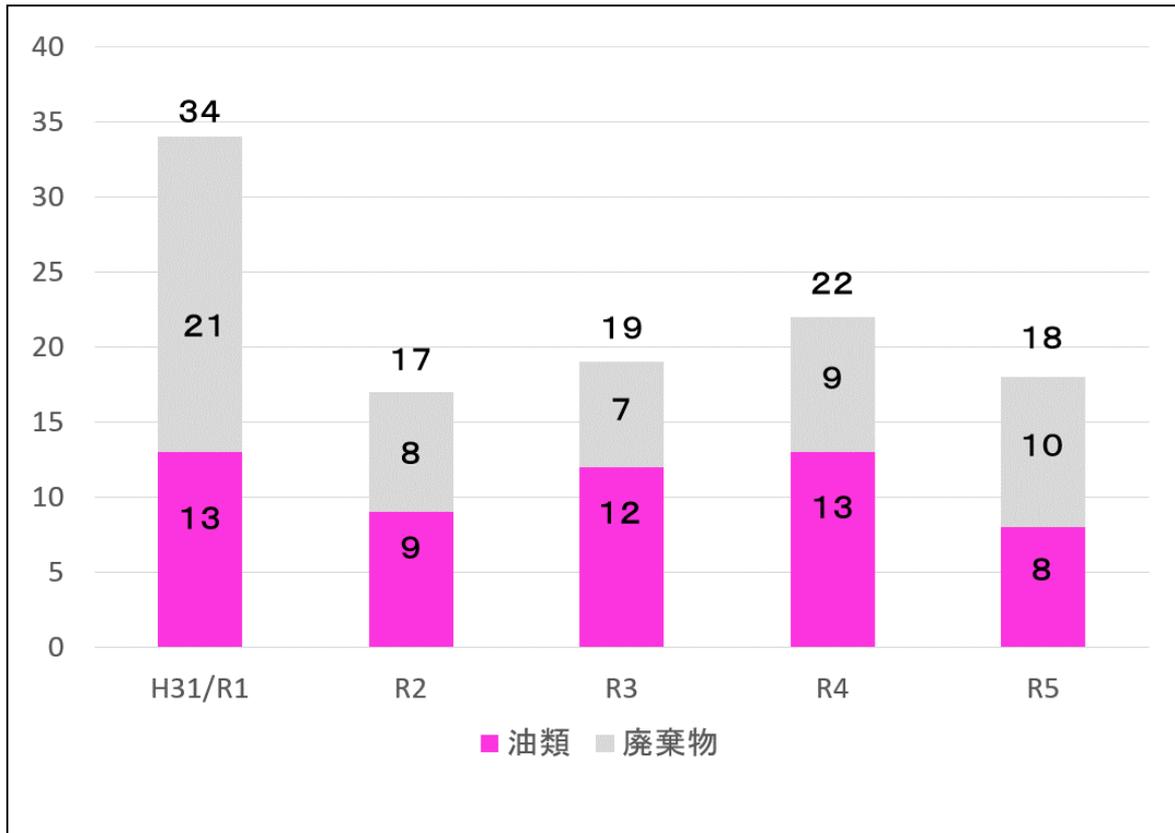
廃棄物による汚染 10 件の内訳は、船舶からの廃棄が 2 件（一般廃棄物 1 件、産業廃棄物 1 件）、陸上からの廃棄が 8 件（全て家庭ごみ等の廃棄）です。

このうち、京都府にあっては、廃棄物による汚染が 1 件（家庭ごみの廃棄、舞鶴市 1 件）ありました。

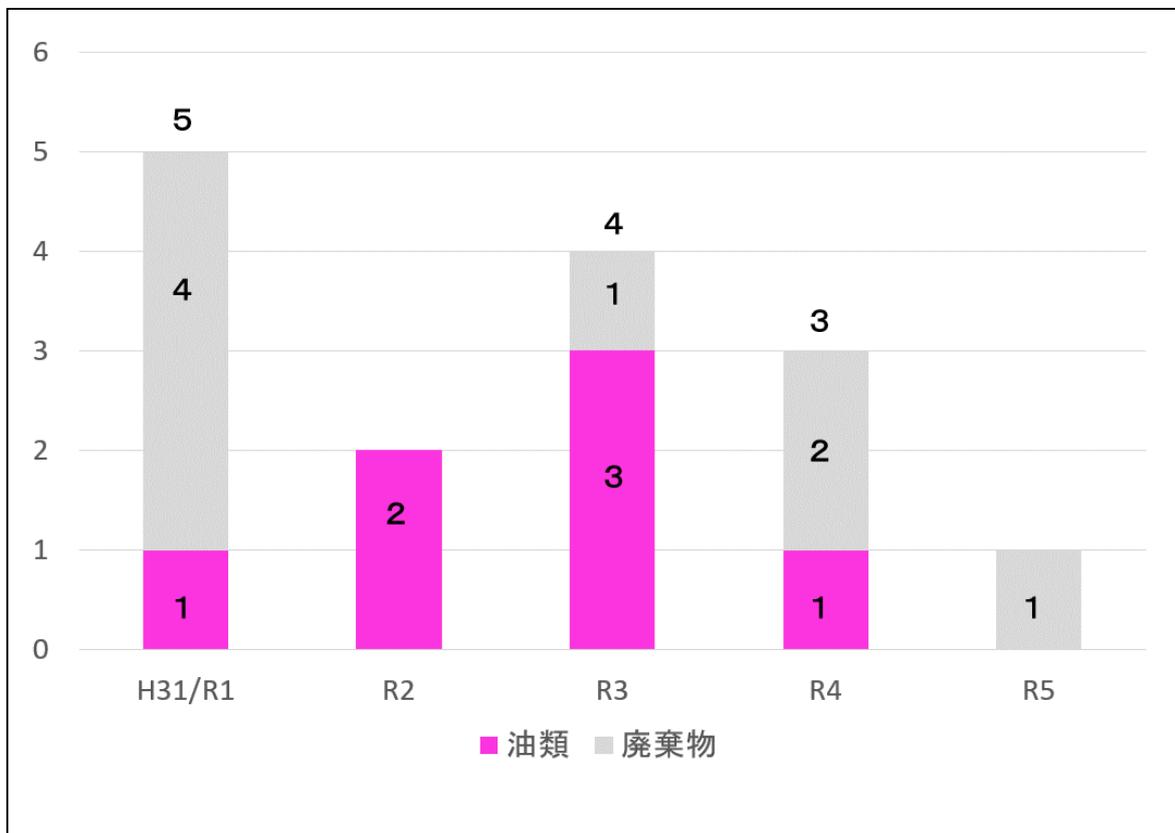
【令和 5 年の管内海洋汚染確認分布図】



【管内海洋汚染確認件数の推移】



【京都府下における海洋汚染確認件数の推移】



令和6年度 海洋環境保全指導・海洋環境保全啓発活動

海上保安庁では、海上環境関係法令の遵守と海洋環境保全思想の高揚を図り、もって海洋環境保全に資することを目的とし、漁業・海事、マリンレジャー関係者を対象とした各種指導・啓発活動を関係機関と連携して実施します。

1 実施期間

令和6年5月30日（木）から6月30日（日）までの間

2 重点事項

廃棄物の不法投棄・油類の不法排出による海洋汚染の防止

3 活動内容

（1）漁業・海事関係者及びマリーナ・釣具店に対する指導・啓発



漁業関係者や船舶燃料取扱事業所等の海事関係者を訪船・訪問し、廃油類や廃棄物等の適正処理、給油時における漏油事故の防止、台風や大雪等の自然災害による船舶の転覆、沈没の防止について、指導を行います。

また、マリンレジャー活動に伴って発生するごみ等の適正処理について、マリーナ、釣具店に対し利用客等に広く声掛けを行うよう協力を依頼します。

（2）子供達に対する啓発



子供達に対しては海洋環境保全教室等を開催し、意識の高揚を図ります。

（3）各種イベントにおける啓発

地域で実施される関係イベントにおいて、来訪者に対して環境保全啓発グッズを配布するほか、海洋環境保全にかかる横断幕の掲示、巡視船艇のライトメールによる周知等の啓発活動を実施します。



第 2 5 回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール

募集テーマ：「未来に残そう青い海」

募集期間：令和 6 年 6 月 1 日（土）から 9 月 6 日（金）まで

募集部門：小学生低学年の部（1～3 年生）、小学生高学年の部（4～6 年生）、中学生の部

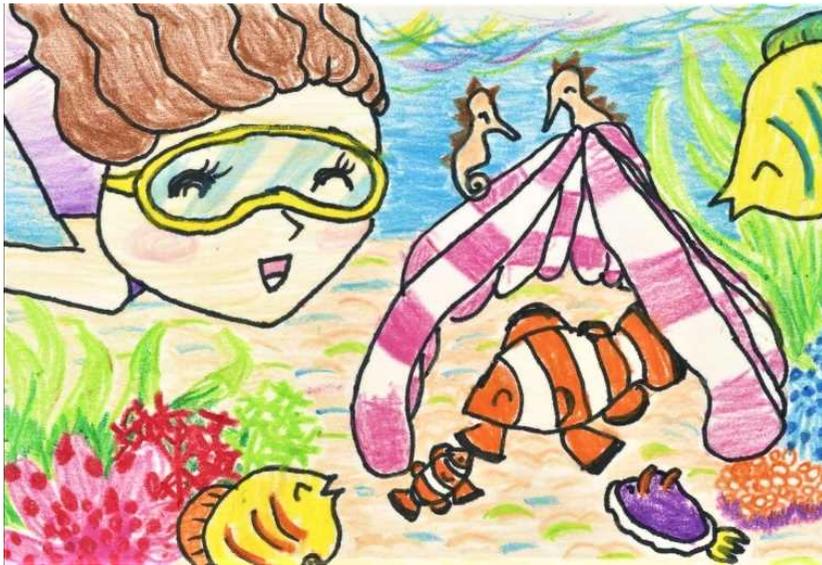
- ・ 応募方法の詳細については「資料 4」のとおりで、第八管区海上保安本部ホームページに掲載予定です。
- ・ 応募者が手軽に描いてポストに投函できる「はがきサイズ」で作品を募集します。
- ・ 全国から集まった作品の中から、「国土交通大臣賞」、「海上保安庁長官賞」、「海上保安協会会長賞」を選出し、11 月ころ、海上保安庁ホームページで結果発表いたします。

○昨年（令和 5 年）応募数

八管区内：4 8 3 点（小学生低学年の部 1 4 2 点、小学生高学年の部 1 9 4 点、中学生の部 1 4 7 点）

全国総数：1 6, 7 0 0 点

第 2 4 回コンクール応募作品の一例です。



小学校低学年の部

中山 葵（なかやま あおい）さん

京都市立朱雀第三小学校 2 年生（当時）



小学生高学年の部

浮田 芽愛（うきだ めあ）さん

鳥取県智頭町立智頭小学校 4 年生（当時）

【！重要！】

応募作品のあて先は、お住まいの地域により異なります。

福井県、京都府、兵庫県（豊岡市、美方郡に限る）、鳥取県、島根県
に、お住いのかたは、

〒624-8686

京都府舞鶴市字下福井901

第八管区海上保安本部

「未来に残そう青い海 海上保安庁 図画コンクール」 担当

あて、お送りください。

その他の地域にお住いのかたの応募方法は、

「[海上保安庁](#)」ホームページ

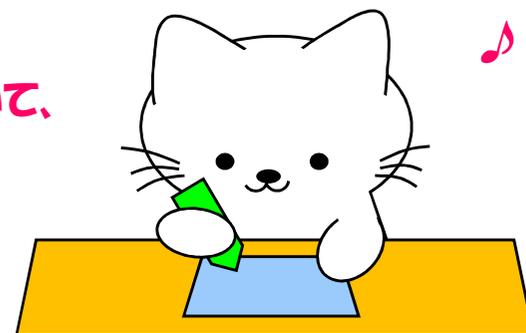


をご確認ください。

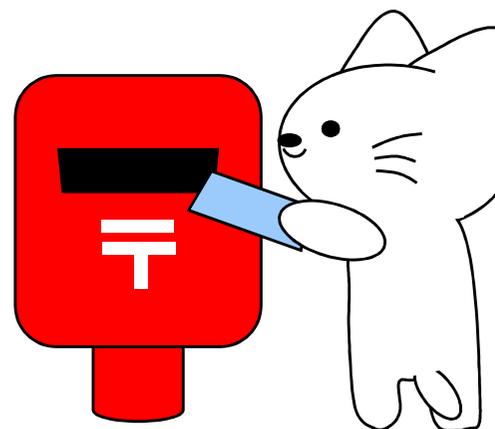
テーマは、

未来に残そう青い海！

はがきサイズに絵をかいて、



ポストにいれてね



未来に残そう青い海 海上保安庁図画コンクール

はがきサイズで

作品大募集!

応募しめきり 令和6年9月6日(金) 必着

特別賞(国土交通大臣賞)・海上保安庁長官賞・海上保安協会会長賞ほか 結果発表は令和6年11月ころ、海上保安庁ホームページなどでお知らせします。

応募資格 全国の小中学生

応募方法(裏面に続く)

【コンクールの部門】

- 小学生低学年の部(1年生から3年生まで)
- 小学生高学年の部(4年生から6年生まで)
- 中学生の部

【作品テーマ】

- きれいな海で楽しく遊んでいる人々の様子
- きれいな海で働いている人々の様子
- きれいな海を走る船の様子
- 海をきれいにしている人々の様子
- 海の生き物たちがいきいきとしている様子
- 未来に残したい海 などなど

『未来に残そう青い海』をイメージしてください!

【作品サイズ】

- はがき(100mm×148mm)サイズ
- はがきでもはがきサイズの画用紙でも可
- 絵は、たて、よこ、どちらでも可

【作品のうら(はがきの場合は、宛名面)】

- 右の応募用紙に必要事項を記載したものを貼り付けてください

■あて先: 本紙右部分のあて先に同じ。 募集要項や過去の受賞作品はコチラ⇒

(個人単位で応募してください。)



■お問い合わせ先: 第八管区海上保安本部警備救難部環境防災課

☎ 0773-76-4100

第24回受賞作品



特別賞
(国土交通大臣賞)
堀池 勇輝さん
(当時小2)

※きりとり

郵便はがき

お手数ですが

切手を

おはください

6 2 4 8 6 8 6

京都府舞鶴市字下福井901

第八管区海上保安本部

「未来に残そう 青い海

海上保安庁 図画コンクール」担当

じゅうしょ ふりがな

〒 都・道 府・県

れんらくさき ※ 日中連絡の取れる電話番号の記入をお願いします。

おなまえ ふりがな

(小・中 年)

作品へのメッセージ

コンクールを知ったきっかけは何ですか?

※該当するもの1つに○をつけてください

- 1 SNS
- 2 ホームページ
- 3 学校からの案内
- 4 その他 ()

右枠内に描いた絵の上下を示す「↑(矢印)」を記載してください。

応募方法（表面からの続き）

【はがき裏面に描いた作品の応募方法】

はがき裏面に作品を描いて投函する場合、応募用紙の切手貼付け部分を切り取って使用してください。

【画用紙に描いた作品に応募する際の注意】

画用紙に描いた作品を、そのままポストに投函して応募する場合には、郵送の過程で作品が折れ曲がる可能性があるため、以下のいずれかの方法で応募してください。

- 画用紙に描いた作品を、はがき または 強度のある厚紙等に貼り付けて投函する。
- 画用紙に描いた作品を、封筒等に入れて投函する。

【作品を描く際の注意】

- 画材は自由ですが、切り絵や貼り絵等の立体的な作品やパソコンで描いた作品、縮小・拡大して印刷した作品のほか、本・ホームページ等に掲載されている写真・絵や他人が描いた絵を模写した作品は受付できません。
- 文字、言葉、企業名、店名や商品名等が入った作品は受付できない場合があります。
なお、地名や船名は、作品に描き入れても良いです。
- 応募者ご本人のオリジナル作品に限り、1人1点の応募とします。
- はがき表面には、描いた絵の上下を示す「↑(矢印)」を記載してください。

【作品の取り扱い】

- **応募作品の著作権は海上保安庁に帰属し、作品は返却しません。**
- 受賞作品は、海上保安庁ホームページ及び広報等を通じて、公表するほか、海洋環境保全ポスターに掲載する等、海洋環境保全啓発活動に広く使用することがあります。
- 受賞作品の公表時または使用時には、作者の学年及び氏名等を記載することがあります。

応募作品のあて先は、お住まいの地域により異なります。

福井県、京都府、兵庫県(豊岡市、美方郡に限る)、鳥取県、島根県にお住まいのかたは、この応募用紙をご使用ください

第24回(令和5年)のコンクール受賞作品(受賞者の学年は、応募当時)

海上保安庁長官賞



(小学生高学年の部)
北角 一華 さん
(小6)



(中学生の部)
大串 雪花 さん
(中2)

(小学生低学年の部)
比嘉 璃海 さん
(小3)

特別賞(国土交通大臣賞)

(小学生低学年の部)
堀池 勇輝さん
(小2)



海上保安協会会長賞



(小学生低学年の部)
中島 晃之さん (小3)



(小学生高学年の部)
新田 結以さん
(小6)

(中学生の部)
小針 夏希さん
(中2)





問合せ先：第八管区海上保安本部

(訓練関係)

救難課企画指導官 佐藤 (内線 3251)

(訓練関係以外)

広報・地域連携室長 安影 (内線 2111)

TEL 0773-76-4100

令和6年5月23日

第八管区海上保安本部

日本・米国・韓国による『初』の合同搜索救助訓練について

～米国巡視船及び韓国警備艦の舞鶴入港～

第八管区海上保安本部は、米国沿岸警備隊 (USCG) 及び韓国海洋警察庁 (KCG) と合同で、『初』の海上における搜索及び救助に関する訓練を実施します。日米韓海上保安機関連携にかかる「意向確認書」を署名後『初』の合同訓練でもあり、本訓練を通じ三カ国の連携・協力体制の強化を図ります。

本訓練実施にあたり、USCG 巡視船及び KCG 警備艦が舞鶴港に入港して、海上保安庁の施設見学や巡視船等相互見学を実施します。

1 取材希望

(1) 取材をご希望される方は別紙「取材申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAXにてお知らせいただきますようお願いいたします。

取材希望申し込み締切り 5月30日(木) 17:00まで

(2) 取材をされる方は、報道腕章等を着装のうえ、下記記載の集合時刻及び集合場所にお集まり下さい。

※集合時間につきましては、問い合わせ先にご連絡ください。

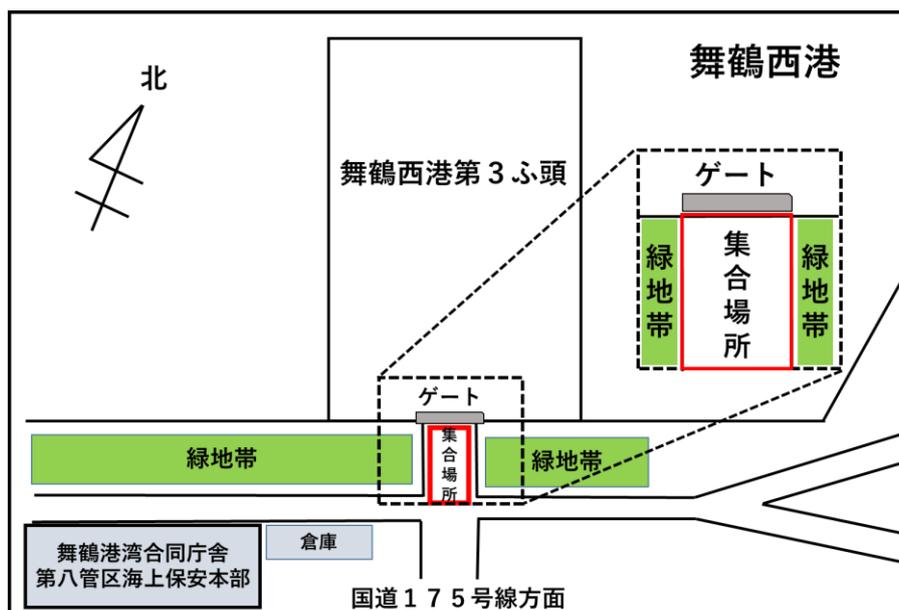
(3) 6月6日(木)の合同搜索救助訓練の取材(巡視船わかさ乗船)を希望される方は、舞鶴西港第3ふ頭(駐車場有)へお集まりいただき、巡視船わかさ出港予定の海上保安学校まで送迎させていただく予定です。

なお、巡視船わかさへの乗船可否については、現在調整中であり、ご希望に添えない場合がございますので、ご了承下さい。

日付	取材対象	集合場所
6月4日(火)	三カ国代表記念撮影…①	第八管区海上保安本部 (1階EVホール)
	第八管区海上保安本部長インタビュー…②	第八管区海上保安本部 (1階EVホール)
	海上保安学校への施設見学…③ 巡視船わかさ見学…④	海上保安学校 ※学校内及び船内撮影可 (保秘区画を除く)
6月5日(水)	巡視船等相互見学…⑤	舞鶴西港第3ふ頭(ゲート前) ※船内撮影可(保秘区画を除く)
	各船船長合同インタビュー…⑥	舞鶴西港第3ふ頭(ゲート前) (雨天時：第八管区海上保安本部(1階EVホール))
6月6日(木)	日米韓合同捜索救助訓練…⑦ (調整中)	舞鶴西港第3ふ頭(ゲート前)
6月7日(金)	訓練予備日	舞鶴西港第3ふ頭(ゲート前)

希望する取材対象の番号を「取材申込書」内の取材対象欄へ記載して下さい。

舞鶴西港第3ふ頭(ゲート前) 集合場所



2 海上保安庁（JCG）巡視船・USCG 巡視船・KCG 警備艦要目等

（1）海上保安庁（JCG）

「わかさ」（舞鶴海上保安部所属）
全長96メートル
総トン数1,500トン



（2）米国沿岸警備隊（USCG）

「WAESCHE」（ウェイシー）
全長127メートル
総トン数4,500トン



出典：USCG 提供

（3）韓国海洋警察庁（KCG）

「太平洋16（KCG3016）」
全長115メートル
総トン数3,249トン



出典：KCG 提供

3 行事・訓練スケジュール詳細

（1）表敬訪問

USCG 巡視船及び KCG 警備艦乗組員による第八管区海上保安本部長への表敬訪問及び懇談が実施されます。

① 日時場所

6月4日（火）

- ・ KCGによる表敬訪問 時間未定
- ・ 三カ国代表記念撮影 時間未定※撮影可
- ・ USCGによる表敬訪問 時間未定
- ・ 本部長インタビュー 時間未定※取材撮影可

第八管区海上保安本部（舞鶴港湾合同庁舎4階）

② 対応者

第八管区海上保安本部長、同次長、同警備救難部長
舞鶴海上保安部長

(2) 海上保安学校見学及び巡視船「わかさ」船内見学

USCG 巡視船及び KCG 警備艦乗組員が海上保安学校の施設及び
巡視船「わかさ」船内を見学します。

① 日時場所

6月4日（火）時間未定

海上保安学校

② 対応者

海上保安学校長、同副学校長、同事務部長
第八管区海上保安本部総務部長、巡視船わかさ

(3) 巡視船等相互見学

当庁職員、USCG 巡視船「WAESCHE」及び KCG 警備艦「太
平洋 16」の乗組員が相互に巡視船等を見学します。

① 日時場所

6月5日（水）時間未定

舞鶴西港第3ふ頭

② 対応者

第八管区海上保安本部職員

(4) 各船船長合同インタビュー

訓練に参加する各船船長のインタビューを行います。

① 日時場所

6月5日（水）巡視船等相互見学終了後

晴天時：舞鶴西港第3ふ頭

雨天時：第八管区海上保安本部（舞鶴港湾合同庁舎 2 階第 1 会議室）

② 対応者

巡視船「わかさ」船長、USCG 巡視船船長、KCG 警備艦船長

(5) 日米韓合同搜索救助訓練

海難救助分野での三カ国の連携・協力体制の強化を図るため、合同
搜索救助訓練を実施します。

① 日時場所

6月6日（木）時間未定

京都府丹後半島北方海域

② 参加国機関及び勢力

日本側（第八管区海上保安本部）

舞鶴RCC（Rescue Coordination Centre：救助調整本部）

巡視船わかさ（総トン数 1,500トン・舞鶴海上保安部所属）

中型固定翼機 1機

米国側（米国沿岸警備隊）

巡視船 WAESCHE（総トン数 4,500トン）

回転翼機 1機

無人航空機（小型） 1機

韓国側（東海地方海洋警察庁）

東海RCC（Rescue Coordination Centre：救助調整本部）

警備艦太平洋16（総トン数 3,249トン）

③ 訓練概要

日本海で船舶同士が衝突し、火災が発生したとの想定のもと、日本、米国及び韓国の海上保安機関が連携し、合同で次の訓練を実施します。

- ・舞鶴RCCと東海RCCとの情報伝達訓練（海難船舶の情報を共有）
- ・搜索救助計画の策定訓練（漂流予測、搜索区域設定）
- ・合同搜索救助訓練（救命筏及び脱出した乗組員（人形）の搜索救助）

4 画像及び映像希望

画像及び映像を希望される社は、取材対象についての画像及び映像を提供いたしますので、下記アドレス宛に、

【件名】（社名・支局名）画像又は映像提供希望

【本文】ご担当者様及びご連絡先

取材対象①～⑦の中から画像及び映像を希望するもの

- ① 三カ国代表記念撮影
- ② 第八管区海上保安本部長インタビュー
- ③ 海上保安学校への施設見学
- ④ 巡視船わかさ見学
- ⑤ 巡視船等相互見学

⑥ 各船船長合同インタビュー

⑦ 日米韓合同捜索救助訓練

をご記入のうえ、ご連絡願います。

(※画像等をご使用される際は、「第八管区海上保安本部提供」と記載いただくようお願い致します。)

《アドレス (全て半角英数字)》

jcgs-kouhou1@mlit.go.jp

(ジ ェー シー ジー ー 8 ハイフン ケー オー ユー アイチ オー ユー 1 アットマーク
イル アイ ティー ドット ジー ー オー ドット ジェー ピー)



第八管区海上保安本部

日本・米国・韓国による『初』の合同捜索救助訓練について取材申込書

御社名

ご氏名	取材対象（番号をご記入ください。）	ご連絡先（携帯電話等）

中止の際等に直接ご本人と連絡のとれる携帯電話番号等をご記入下さい。

車種	車両番号	色

訓練を取材される方は、訓練当日に、舞鶴西港第3ふ頭へ駐車予定の車両についてご記入ください。

ご質問・ご要望事項等あればご記入下さい。

【送信先】

第八管区海上保安本部 総務部 総務課

(FAX 0773-76-4103)

5月30日(木) 17:00までにご連絡下さい

海上保安学校連絡事項

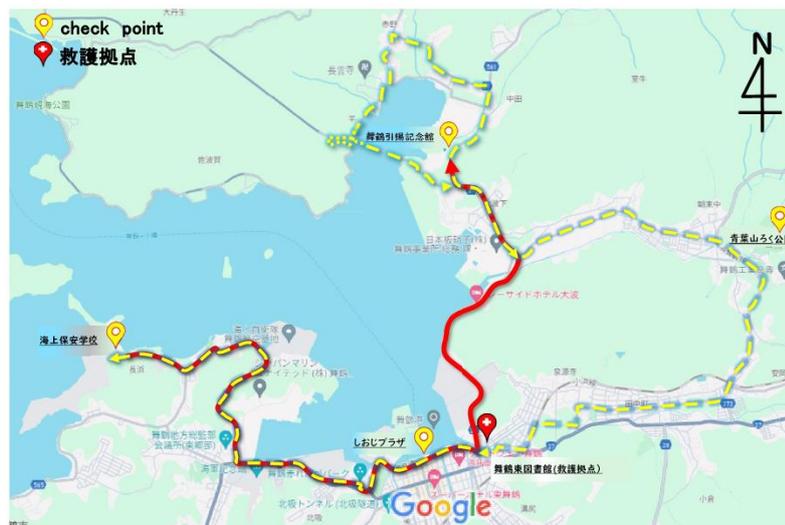
1 行軍訓練の実施

日時 令和6年6月11日（火）午前8時30分から午後5時15分

※荒天時は6月12日（水）に延期します。

2 行程

総行程35km（学校～引揚記念館～クレインブリッジ～青葉山ろく公園～学校）



3 訓練状況

隊列形成



完歩

